

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成20年11月7日

【四半期会計期間】 第50期第1四半期(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

【会社名】 日本電子材料株式会社

【英訳名】 JAPAN ELECTRONIC MATERIALS CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 坂根 英生

【本店の所在の場所】 兵庫県尼崎市西長洲町2丁目5番13号

【電話番号】 06(6482)2007

【事務連絡者氏名】 取締役 管理部門統括部長兼経営企画シニアマネージャー  
厚地 義尚

【最寄りの連絡場所】 兵庫県尼崎市西長洲町2丁目5番13号

【電話番号】 06(6482)2007

【事務連絡者氏名】 取締役 管理部門統括部長兼経営企画シニアマネージャー  
厚地 義尚

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成20年8月13日付をもって提出いたしました第50期第1四半期（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）四半期報告書の記載事項の一部について訂正を要する箇所がありましたので、これを訂正するために四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、四半期連結財務諸表の記載事項にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正を行いましたので併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を関連書類として提出いたします。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

#### 第2 事業の状況

##### 3 財政状態及び経営成績の分析

###### (1) 経営成績の分析

###### (3) キャッシュ・フローの状況

#### 第5 経理の状況

##### 1 四半期連結財務諸表

###### (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は、\_\_で表示しております。

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

連結経営指標等

回次	第50期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第49期
会計期間	自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日	自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日
売上高 (百万円)	3,368	14,276
経常利益 (百万円)	39	1,211
四半期(当期)純利益 (百万円)	65	344
純資産額 (百万円)	11,938	12,281
総資産額 (百万円)	16,190	16,864
1株当たり純資産額 (円)	1,127.30	1,159.69
1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	6.18	32.56
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)		
自己資本比率 (%)	73.7	72.8
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	102	1,557
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	591	1,400
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	170	306
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	3,535	4,257
従業員数 (人)	1,308	1,268

(訂正後)

連結経営指標等

回次		第50期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第49期
会計期間		自平成20年4月1日 至平成20年6月30日	自平成19年4月1日 至平成20年3月31日
売上高	(百万円)	3,368	14,276
経常利益	(百万円)	39	1,211
四半期(当期)純利益	(百万円)	65	344
純資産額	(百万円)	11,938	12,281
総資産額	(百万円)	16,190	16,864
1株当たり純資産額	(円)	1,127.30	1,159.69
1株当たり四半期 (当期)純利益	(円)	6.18	32.56
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	(円)		
自己資本比率	(%)	73.7	72.8
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	118	1,557
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	608	1,400
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	170	306
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	3,535	4,257
従業員数	(人)	1,308	1,268

## 第2 【事業の状況】

### 3 【財政状態及び経営成績の分析】

#### (1) 経営成績の分析

(訂正前)

(略)

所在地別セグメント

##### a 日本

日本国内におきましては、メモリーIC向けにアドバンスプローブカード(Vタイプ)を積極的に拡販した結果、売上高は30億6千4百万円、となりましたが、ロジックIC向けプローブカードの売上減少に伴う操業度悪化、メモリーIC向けを中心とする価格競争激化、開発投資の継続などにより営業損失3千9百万円となりました。

(訂正後)

(略)

所在地別セグメント

##### a 日本

日本国内におきましては、メモリーIC向けにアドバンスプローブカード(Vタイプ)を積極的に拡販した結果、売上高は30億6千4百万円、となりましたが、ロジックIC向けプローブカードの売上減少に伴う操業度悪化、メモリーIC向けを中心とする価格競争激化、開発投資の継続などにより営業利益2億1千4百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、7億2千1百万円減少し、当第1四半期連結累計期間末には35億3千5百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、1億2百万円となりました。これは主として、たな卸資産の増加額2億5千5百万円、法人税等の支払額2億8千2百万円等による支出があったものの、税金等調整前四半期純利益3千9百万円、減価償却費2億3千6百万円、仕入債務の増加額1億7千7百万円等による収入があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、5億9千1百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出3億6千2百万円と信託受益権の取得による支出2億7千万円等があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、1億7千万円となりました。これは、短期借入金の返済による支出9千万円、配当金の支払額8千万円によるものであります。

(訂正後)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、7億2千1百万円減少し、当第1四半期連結累計期間末には35億3千5百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、1億1千8百万円となりました。これは主として、たな卸資産の増加額2億5千5百万円、法人税等の支払額2億8千2百万円等による支出があったものの、税金等調整前四半期純利益3千9百万円、減価償却費2億5千3百万円、仕入債務の増加額1億7千7百万円等による収入があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、6億8百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出3億6千2百万円と信託受益権の取得による支出2億7千万円等があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、1億7千万円となりました。これは、短期借入金の返済による支出9千万円、配当金の支払額8千万円によるものであります。

## 第5 【経理の状況】

### 1 【四半期連結財務諸表】

#### (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年6月30日)

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	39
減価償却費	236
賞与引当金の増減額(は減少)	163
売上債権の増減額(は増加)	86
たな卸資産の増減額(は増加)	255
仕入債務の増減額(は減少)	177
その他	76
小計	371
利息及び配当金の受取額	13
利息の支払額	0
法人税等の支払額	282
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>102</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有価証券の取得による支出	64
有価証券の売却による収入	72
有形固定資産の取得による支出	362
有形固定資産の売却による収入	17
投資有価証券の取得による支出	4
投資有価証券の売却による収入	1
貸付金の回収による収入	0
定期預金の払戻による収入	26
信託受益権の取得による支出	270
その他の支出	8
その他の収入	1
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>591</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の返済による支出	90
配当金の支払額	80
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>170</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	61
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	721
現金及び現金同等物の期首残高	4,257
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,3,535

(訂正後)

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間  
 (自平成20年4月1日  
 至平成20年6月30日)

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	39
減価償却費	253
賞与引当金の増減額(は減少)	163
売上債権の増減額(は増加)	86
たな卸資産の増減額(は増加)	255
仕入債務の増減額(は減少)	177
その他	76
小計	387
利息及び配当金の受取額	13
利息の支払額	0
法人税等の支払額	282
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>118</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有価証券の取得による支出	64
有価証券の売却による収入	72
有形固定資産の取得による支出	362
有形固定資産の売却による収入	0
投資有価証券の取得による支出	4
投資有価証券の売却による収入	1
貸付金の回収による収入	0
定期預金の払戻による収入	26
信託受益権の取得による支出	270
その他の支出	8
その他の収入	1
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>608</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の返済による支出	90
配当金の支払額	80
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>170</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	61
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	721
現金及び現金同等物の期首残高	4,257
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,3,535